

TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会

会報

第12号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

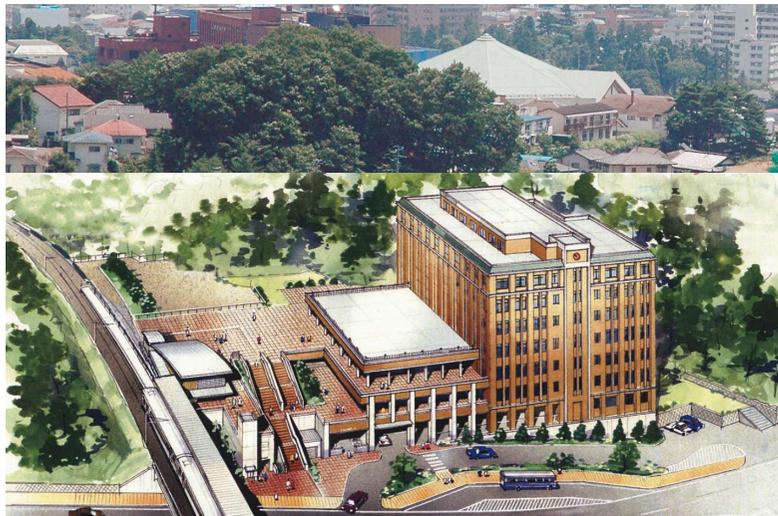
電話代 022-233-3111

FAX代 022-233-3113

ホームページ

http://www.tfu.ac.jp

来春完成「東北福祉大前駅」 ステーションキャンパスも誕生



ステーションキャンパス（完成予想図）と後方に位置する本校地（撮影）

本学の勉学環境、利便性が大きく前進する。来春開業するJR仙山線の新駅「東北福祉大前駅」に合わせ、「東北福祉大学ビルディング」が誕生する。所在地は仙台市青葉区国見1-8-1（二二ノ丸）で、完成予定は来年三月三十一日。三月十五日に本学、仙台市、JR、地域住民ら約五十人が参加して地鎮式が挙行された。

建物は地上八階、鉄骨・鉄筋・コンクリート造りで、延べ床面積は八、八六二・六七平方メートル。本学では「ステーションキャンパス」として位置づけ、教室など学校施設、福祉施設として活用する予定。

出席した萩野浩基学長は「地域の皆さんに新しい文化、地域発展のために利用してほしい」と期待を込めて話した。

なお、新駅は山形よりの国見駅から約1・1キロ、仙台よりの北山駅から約1キロと国見―北山間のほぼ中間に位置し、新駅から仙台までは約7・5キロになる。

片側ホームで自動改札機、多機能トイレが設置される。

特別支援教育研究センター

4月22日に開設記念事業

今年四月に開設した「東北福祉大学特別支援教育研究センター」の開設記念事業が同二十日、音楽堂げやきホールで開催された。幼児教育、学校行政、施設関係者、学生ら約五百人が参加した。

開会のあいさつで萩野浩基学長が「障害児教育は転換点にあり、当センターは課題解決ができる人材育成の一翼を担う。新しい教育が芽生えてくれることを祈る」と述べた。

記念講演は日本LD学会会長で東京学芸大学の上野一彦教授が「軽度発達障害児のこれからの特別支援教育」と題して、行った。楽器「笙」の演奏家YUU（高橋由宇）さんが雅楽曲とクラシック、童謡、ポピュラーなど、ジャンルを問わない幅広い曲目を披露した。シンポジウムのテーマは「校内における軽度発達障害児の学習支

- 南三陸町立志津川小・佐藤牧子 子教諭
 - 宮城LD児・者親の会・佐藤滋会長
 - 仙台市教育研究会教育相談課・特別支援教育室・齋藤まり子 指導主事
 - 東北福祉大学子ども科学部・木村進学部長
- の四人で、それぞれ特別支援教育コーディネーター、親、教育行政、



木村進、阿部芳久教授を交えて開かれたシンポジウム

支援体制推進の指導・助言の立場から意見を述べた。

開会のあいさつで渡辺信英学長補佐は「充実した内容になり、感謝申し上げたい。発達支援の体制づくりを整える必要性を認識しつつ、運営に努めよう」と結んだ。

当センターは相談、教育・研修、発達・学習支援、研究、地域支援を各事業の柱にして、運営される。

特別講演会「教育とは」

- | | | |
|-----------|-----|-------------------|
| 萩野浩基学長 | 出席者 | 小野寺五典 特任教授 |
| 福岡政行 客員教授 | | ヤンキー先生こと 義家弘介特任講師 |



出席した萩野学長、福岡教授、義家講師、小野寺教授（右から）

人間基礎論

げやきホールが熱気に包まれた。六月二十八日、二時限目の人間基礎編で「教育とは」と題した特別講演会が催され、産業福祉、社会教育、福祉心理学科の一年生を中心に約七百人が参加した。

講演者は萩野浩基学長、複数の大学で教授を務める福岡政行・客員教授、衆議院議員の小野寺五典・特任教授、ヤンキー先生こと義家弘介・特任講師の四人。

学長「すごいメンバー」

最初に萩野学長が「すごいメンバーがそろった。人間を決める尺度は生まれ育ちでない。いかに生きるかで、実現した者が価値を決める」と、三人の先生を紹介しながら口火を切った。

義家先生は哲学者ショールペンハウエルの寓話、山嵐を引き合いに「冬、二匹の山嵐が凍え死にそうで、身を寄せ合った。針が刺さり、離れる。何度も繰り返す、最適な距離、安全な距離で傷つくことなく、凍えることなく過ごした。」

さらに続けて「相手の個性に傷つけられる。しかし、傷つくことから逃げてはならない。心の中で消化して、生かしてほしい」と話した。

福岡先生は「私のゼミは自主ゼミ。伸びる子と伸びない子がいる。相手の立場に立って吸収できる学生は伸びる」と強調した。

小野寺先生は「世界はアグレッシブに将来を考えている。来年から資格者が日本で働けるようになる。要請がある。優秀な人材が来ることを肝に銘じてほしい」と述べた。

一人ずつの講演が終わると三人の座談会に早変わり。福岡先生がリードし、本学の特徴や学生気質にまで話が発展した。

熱心に聞いていた林大輔君（産福）は「個人とどう付き合っていくか悩んだことがあった。義家先生が話したように、自分から入っていければ変わるかな」と晴れやかな表情を見せた。

あつという間の八十分。各先生の気合がホール全体を包み込み、

特別展示室がオープン



目を引く特別展示室

管理事務棟一階中央ロビーに六月二十六日、特別展示スペースが誕生した。タテ、横2・7メートルの正方形で約7・3平方メートルの空間。常時部屋の空気が回るように換気扇と除湿器が作動し、天井に3カ所、床に2カ所、展示物を照らすスポットライトが設けられている。

早速、六月の全国大学ゴルフ対抗戦で五連覇を飾った男女ゴルフ部の優勝旗と優勝カップ、昨年九月の信天杯優勝旗と優勝カップが展示され、通りかかる学生や訪問者の目を惹きつけている。

鹿児島島宇検村からソテツ届く

南国・鹿児島島宇検村から贈られた常緑裸子植物のソテツの贈呈式が四月三日、本学で行われた。植樹場所は多目的特設ステージ脇三号館側の一。宇検村の元山三郎村長と萩野浩基学長が最初に土盛りし、奄美観光ホテルの渡博文社長、大竹榮総務局長が続いた。高さ約5メートル、重さ約1トンの巨

大ソテツはクレーン車で吊り上げられ、根が埋められた。どっしりと力強く、かつ柔らかな南国情緒を辺りに漂わせた。元山村長は「見栄えがいい場所で感激している」と語り、萩野学長は「立派なソテツで、感謝している」と喜びを話した。宇検村からソテツが贈呈されたのは本学が初めて。



土盛りする萩野学長（左から2人目）

「人づくり」をアピール

行学一如

学生は大いに刺激を受けた様子だった。

「PHP」という雑誌を一度ならずとも手にした人は多いことでしょう。そう、その「経営の神様」と呼ばれる故・松下幸之助氏が昭和二十一年に設立したPHP研究所により月一回発行されているものです。全国の書店や各図書館あるいは病院の待合室など、あらゆる所で見かける雑誌の一つといえるでしょう。さて、その「PHP」特別仕様版八月号に東北福祉大学が取り上げられました。特別仕様は市販される「PHP」の巻頭8ページの前半5ページ分で大学を紹介するという形を取っています。市販はされず、学生情報センターという会社が仲介し、高校の進路指導の先生や大学、専門学校、教育関係者など全国各地に約5千部が無料配布されます。▼全国に大学は国公立・私立を含め日本に約千二百あります。月刊誌の「PHP」に取り上げられるのは年間十二校。掲載されるのは十年でわずかに百二十校という狭き門になります。そこに選ばれた大学は大変な名誉になります。▼インタビューに答えた萩野浩基学長は開口一番、「大学とは未知なる未来への跳躍の場であり、知識と智慧とを統合し、人生を芸術するところである」と訴えました。また、全体に流れるのが「人づくり」への並々ならぬ情熱でした。▼幸之助翁は生前「人間とは何か」という壮大なテーマと絶えず向き合っていました。「PHP」は「Peace and Happiness through Prosperity」の略で、豊かさを通じた平和と幸福の意。間接的とはいえ翁と関わった本学は「人づくり」を使命に、人類の繁栄を支えていきます。（国見 太郎）

平成43年 (1968年) 当時

短大設立から十年 激動の年に学長交代

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は三万人を超えている。さて、大学の時々を振り返るシリーズは今回が12回目。十年ひと昔と言われるが、短大誕生から十年後の一九六八年(昭和四十三年)を取り上げる。大学紛争に明け暮れた激動の年に学長がバトンタッチされた。



朽木正己学長



大久保道舟学長

大学設置に尽力

当時を知る人は世の中が一触即発の空気で充満していたと記憶しているのではない。一月に東京大学医学部が登録医制度反対などで無期限ストに突入。六月の安田講堂占拠など大学紛争は拡大一途の様相を呈した。

道元禅師伝の研究者

代わって同日に就任した学長は大久保道舟氏。曹洞宗の開祖・道元禅師伝の研究者として名をはせている。着任時、仙台ホテルで開かれた歓迎会で「私の使命は本学に真の魂を入れるにあります」とあいさつ。早速、禅堂・法堂の改修に掛かった。真の魂を入れるためにと仏像は日展審査員の難波孫次郎氏に依頼。完成した釈尊像の坐像、道元、瑩山兩禅師の祖像が七月、正面ステージの須弥壇に安置された。

図書館改革に着手

学問に対し厳しい姿勢で臨む大久保学長だけあって、図書館の充実にも着手した。五月の教授会で図書館に関する規則制定に関する案件が出された。短大発足時に制定された「東北福祉短期大学図書館規則」は全面的に見直され、十年後の四月一日「東北福祉大学図書館規程」として施行された。



1968年当時の図書館

推薦入試を導入

七月の教授会では次年度の学生募集から推薦入試制度を新設することが諮られた。十二月と一、二月にかけて二回実施されたが、今ではすっかり定着している推薦入試制度がこのとき決まった。筆記試験は四月の三、四日に行われ、国語、英語B、社会(日本史か地理B)の3科目で試験時間はいずれも80分だった。試験の実施時期といいた選択科目の数とい、今日のそれとは大きく異なっている。

また、九月二十二日と二十四日に北海道支部で同窓会が開催されるという記述があった。札幌で行われる日本社会福祉学会に合わせたいのだが、正式な同窓会ではなく卒業生の集まりと考えられる。経済成長、大学進学率の向上など外部環境と、本学の地道な努力があいまって学生数は増加。五月時点で社会福祉、産業福祉学科に八百一人が在籍した。以後、学科増増加の一途をたどることになる。若者のエネルギーが噴き出した昭和四十三年。激動の年は本学にとっても意義深く、忘れがたい年であった。

2006「OBと学生との集い」福祉と医療編

76年から05年卒のOB16人が参加

就職部主催の2006「OBと学生との集い」が七月八日、本学で開かれた。北海道、東北六県、茨城、栃木、新潟、東京の十一都道府県から「福祉と医療」関連分野に勤める十六人の卒業生が駆けつけた。卒業生は七六年から〇五年まで幅広く、分野は身体、知的、精神障がい施設から児童、高齢者、病院、介護サービス関連まで多種に及んだ。参加学生は一年から四年までの約百三十人だった。3部構成の第1部は341教室での全体会。就職部の江尻行男部長が「せつかくの機会。後輩の学生には今後の方向付けの糧にしてほしい」とあいさつした。2部は演習室に分かれての分科会。学生は事前に希望した分野で仕事の現状や内容、気になることなどを聞いた。3部は学生食堂を会場にした交流会。ドリンク、スナックを取りながら気軽に話せる雰囲気とテーブルの移動も自由で、興味のある分野を回れる仕組みになった。七六年度卒で山形県の特別養護老人ホームに勤める小山憲樹さんは「学生の積極性を感じた。アピールはとっても大切なので、期待できる。大学には学生が就職に向かうためのムードづくりを心がけてほしい」と、親心をにじませた。



OBと学生がご対面

全国の視線が本学に集中

募金箱型自動販売機第1号

全国初の試み、募金箱型自動販売機第1号機が東北福祉大学の学食内に設置され、四月二十六日、設置記念セレモニーが行われた。特定非営利活動法人・みやぎハートフルベンダーの佐藤隆雄理事長が「試みが世に広がり、一人ひとりの福祉に対する気持ちが醸成されることを期待する」と、本学の渡辺信英学長補佐が「利用することで、参加ができる。手軽で大きな可能性を秘めている」とあいさつし、テープカットを行った。「赤い羽根」マークがついた自販機には十円と百円の「募金ボタン」が設けられ、購入時のつり銭の中から、希望分だけ募金ができる。また、購入はしなくても、募金だけでも可能。募金すると「ありがとうございます」の音声が出る。返金ボタンを押すとつり銭が戻る。操作はいたって簡単だ。この試みは、募金額の減少傾向に歯止めをかけようと、福祉団体が「目に見える地域密着型福祉」実現の一環として「ハートフルベンダー」事業を発足。本学OB(昭四十四年度卒)でもある佐藤理事長が、誰もがいつでも利用できる自販機に募金機能を持たせることを思いついた。



操作は簡単と説明する学生

学部・学科および募集定員

Table with columns for Faculty, Department, Recruitment Staff, and Admission Methods (Special Selection, General Selection).

Table with columns for Admission Type (Special Selection, AO), District, and Exam Dates.

Table with columns for Faculty, Department, Exam Date, Exam Venue, Notification Date, and Application Period.

推薦B方式(公募制推薦入試)

Table with columns for Faculty, Department, Exam Date, Exam Venue, Notification Date, and Application Period.

Table with columns for District, Faculty, Department, Exam Date, Exam Venue, Notification Date, and Application Period.

キャンパス見学会 8月22日(火) 入試事務室 TEL 022-717-3312 FAX 022-717-3332

平成19年度 入試情報

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp

同窓会 便り

デッサン部門で秀作

金井典子さん受賞

日ごろから「美しいもののある所に争いはなく、争いがある所に美しいものはない」と信じている金井(旧姓 宮武)典子さん(平7社 教卒)だ。世界平和を念願しながら絵の勉強を続けているが、昨年11月、東京・池袋サンシャイン・ワールドインポートアートで開かれた第6回日美展に出品した「だっこ」がデッサン部門で秀作を受賞した。



デッサン部 秀作 「だっこ」 円内は金井典子さん

と気持ちの充実ぶりを話した。夢は自らの絵がユニセフのポストカードに採用され、世界中を駆け巡ること。それが紛争地域の人びとの目にとまり、人びとの心の安らぎにつながればと願っている。

金井さんは平成16年開催の第5回日美展でデッサン部門に出品した「午睡」が優秀賞に輝き、今回が2度目の受賞になる。

北海道空知地区同窓会

再生同窓会として発足以来、第3回総会が3年5カ月ぶりに2月4日、岩見沢市の三井サンプラザで開催され、母校から秋野浩基学長、阿部靖彦総務課長が出席した。



学長の来道に喜ぶ空知地区同窓会

当日、北日本各地は大雪に見舞われ、仙台空港でも欠航が相次いだ。そのため事務局員は赴くことができなかったが、同窓生は三十人が出席した。

総会では会の運営強化と充実を図るために、役員として会計、監査の両部門の新設が提案され、承認された。

総会、懇親会とも母校を象徴する校旗が正面に飾られ、旗の下、会員同士が一丸となって事業を推進することを誓い合った。

秋野学長の出席は同窓生に大きな喜びを与えた。参加者の一人は「まさかこんな悪天候の中、この地まで来ていただけるとは思っていなかった。学長と親しく話ができたい思い出になった」と感激した。

秋野学長の出席は同窓生に大きな喜びを与えた。参加者の一人は「まさかこんな悪天候の中、この地まで来ていただけるとは思っていなかった。学長と親しく話ができたい思い出になった」と感激した。

群馬県同窓会

第5回群馬県同窓会総会が6月24日、前橋東急インで開かれ、母校から就職部長の江尻行男教授、大倉峰雄講師らが出席した。参加者は28人。



再会を喜ぶ栃木県同窓会

今年度は役員改選期にあたり、初代の佐藤吉吉会長に代わり、菅原優氏(昭55社福卒)が2代目の会長に選出された。

今後、組織体制の強化と会の円滑な運営を促進するために事務スタッフが増員され、充実した会の発展に全力を尽くす方針が確認された。

就任した菅原新会長は「諸先輩がいる中で就任は荷が重い、引き受けた限りは、佐藤前会長の姿勢を尊重して、より発展性を目指した会の運営に当たりたい」と抱負を述べた。

記念講演では大倉講師が「日本のスポーツの現状と国際比較」と題して、話した。中国・北京出身の大倉講師は「日本は学校教育が中心だが、中国は社会体育としてク

浴びた。懇親会で江尻教授が発展する母校の現状を報告。会員同士は親睦を深め、会の結束を確かめた。

32年振りの同期会

卒業したのは昭和48年3月、実に32年ぶりの同期会が昨年8月20日、仙台市内で催された。集まった同期生は20人。卒業後、初の会合とあって、当初は名前も分からず、戸惑いも見られた。しかし、アルコールが回り出すと、緊張はほぐれ各

人から学生時代の思い出話が次々と語られた。話は続き、夜明けまで尽きなかった。

翌日は思い出の学び舎を訪れ、当時の恩師・西山広宣助教授の案内で、キャンパス内を歩いた。しかし、当時の面影はどこにも見当たらない。すっかり変貌を遂げた学び舎に、一同ただただ驚くばかりだった。

懐かし語り合おう 児童福祉部同窓会初集い 児童福祉部同窓会は5月20日から1泊2日にわたり、宮城県白石市の小原温泉「かつらや」で開催された。参加者は27人。同窓会は在学中に行われた施設球技大会や神明地区子供会活動、在仙大児童文化連盟が中心になり誕生。主に

次回も近い将来に開催することと約し、学び舎を後にした。

栃木県同窓会

設立から5周年を迎えた記念の総会が3月4日、宇都宮市の青年

会館コンソールで開かれ、30人を超える会員が出席した。

総会で事務局の原案が協議され、満場一致で承認された。

記念講演は講師に本学の阿部一彦教授を迎え「障害者自立支援法と今後の社会福祉の動向」をテーマに行われた。テーマは社会の関心が高く、講演会だけ出席するといった同窓生も何人か見られた。

原優氏(昭55社福卒)が2代目の会長に選出された。今後、組織体制の強化と会の円滑な運営を促進するために事務スタッフが増員され、充実した会の発展に全力を尽くす方針が確認された。

青森県同窓会

設立から7度目となる総会が7月1日、八戸プラザホテルで開催された。八戸市は青森県同窓会の発祥の地であり、同地区在住の同窓生を中心に約30人が集まり、八戸での7年ぶり開催を喜び合った。



同窓会誕生の地八戸で開く

総会の中心議題は「役員改選」。監事と地区選出役員が一部改選されたが、山内正毅会長(昭41社福卒)からでた。

卒はじめ、ほとんどの役員が再選され、向こう2年間の運営がスタートした。講演は阿部一彦教授が「自立支援法時代のサービス提供について」

の考えと題して、行った。講演要旨は①障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現②障害者自立支援法のポイント③総合的な自立支援システムの全体像についてだった。①については「自立と共生の地域社会づくりにある」と強調した。

今回、通信教育部の小野秀助手が出席し、通信教育部の概況を説明。理解と協力をお願いした。続く懇親会では一人ひとりが近況報告。ユーモアたっぷりでありの絶えない雰囲気だった。

来年は7月7日、2年連続八戸で開催することが決定した。

総会開催予告

- 富山県同窓会 平成18年度総会は左記の通り開催。
日時 7月29日(土) 14時30分
会場 パレラン高志会館
富山市千歳町1ノ3ノ1
☎076(441)2255
連絡先 幹事長 羽田哲朗
自宅☎0765(24)6120
勤務先☎0765(23)1025

山形県同窓会

- 山形県同窓会 平成18年度総会期日決まる。
日時 10月8日(日) 15時
会場 山形国際ホテル
大学紹介(天学、卒業生、在学生から)、福祉の仕事相談コーナー
☎0763(33)0802

新潟県同窓会

- 新潟県同窓会 新潟市役所市民課
日時 9月2日(土) 時間未定
会場 長岡市
公開講座 一般市民にも開放
講師は未定。
連絡先 事務局 三林けい子
自宅☎025(224)0902
勤務先☎025(228)1000

富山県同窓会

- 富山県同窓会 山形県老人クラブ連合会内
日時 10月上旬中旬の土曜日
会場 中標津町
公開講座 講師は折衝中
連絡先 幹事長 中村孝之
事務局☎0154(55)7821

北海道釧根地区同窓会

- 北海道釧根地区同窓会 総会開催日を協議中。
日時 10月上旬中旬の土曜日
会場 中標津町
公開講座 講師は折衝中
連絡先 幹事長 高橋 潔
事務局☎023(622)5601

同窓会事務局が管理事務棟に

先、連絡先の変更から支部の設立や大学再訪希望まで、お気軽にお知らせください。問い合わせ先 ☎022(233)3111 (代)、内線276 FAX022(233)3113です。 http://www.tfu.ac.jp

七月から同窓会事務局が管理事務棟一階の広報課内に移転しました。鈴木春彦事務局長が担当。卒業生の住所や勤務先、お問い合わせ先

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。

な、今回の記事提供は同窓会有志代表の南條幸優氏(昭41社福卒)からでした。